

「砂の津波」が押し寄せる ゴビ砂漠の町にオアシスを！

第6回ゴビ砂漠友好植林・観光ツアー

平成27年5月8日(金)～5月15日(金)



砂漠で行われた「ナーダム祭」 大草原の風を表現

《企画実施協力》

公益財団法人オイスカ静岡県支部(担当:友田、内山)

TEL:053-464-0339 FAX:053-463-0316

オイスカ「駿河の国」連絡所(担当:亀山)

TEL:090-7690-8766 FAX:054-364-8010

静岡・モンゴル親善協会(担当:イトゲル)

TEL:054-209-7815 FAX:054-209-7802

《旅行企画実施》

㈱遠鉄トラベル本社(担当:森泉)

〒430-0927 浜松市中区旭町 12-1

TEL:053-457-6470 FAX:053-457-6477

”ゴビ砂漠の東の地”にオアシスを

21ある県の一つドルノゴビ県は「ゴビ砂漠の東の地」という意味です。人口は58,000人で面積は109,472km²、人口密度はわずか0.53/km²で、広大な天空と同じ広さの大地で人に出会うことはまれです。目にするのはヤギや羊、馬、牛そしてラクダの群れです。天と地が織りなす何もない広大な空間が最大の魅力かもしれません。そのドルノゴビ県のガンホヤク知事は信州大学卒業後、駐日モンゴル大使館で6年間仕事に従事された日本大好きの人です。また、オイスカ・モンゴル総局の会長でもあります。

平成22年5月、静岡県より29名の植林ボランティアがその「ゴビ砂漠の東の地」を訪問し植林を行いました。その時、地元の子供たちや住民と共に押し寄せる「砂の津波」を食い止める緑のオアシスを育てようという思いを強くしました。幸い静岡県とドルノゴビ県との間に大統領立会いのもと友好都市の覚書が同年11月に交わされ、その友好親善の証として新しく建設された道路に「静岡通り」と命名されました。昨年及び一昨年はその通りに地元の第五総合学校の生徒たちと共に街路樹を植えました。植樹後は第五総合学校の生徒たちが水管理や牧畜被害防止を行ったお陰で予想以上に街路樹は元気に育っています。“ゴビ砂漠の東の地”の緑化など夢にも思っていなかったドルノゴビ県民も「砂の津波」から町を守るため積極的に植林に取り組む意識が芽生えました。さらに街のオアシスづくりに静岡県民の活動が役に立つことを願っています。

モンゴル政府は植林の重要性を認識し、5月12日を「緑の日」に制定し全国民に植林を呼びかけています。モンゴルは世界で最も温暖化が進んでいる国として挙げられており、砂漠化の脅威はただ事ではありません。ゴビ砂漠から日本へ飛来してくる黄砂も深刻になっています。緑化事業は大変なことです。日本人大好きなモンゴル人は私たち日本人と一緒に植林できることをとても楽しみにしています。彼らと一緒に一步一步着実に緑を増やしていきたいと思えます。今年も“ゴビ砂漠の東の地”の人々が静岡県民の来訪を今か今かと待ち望んでいます。

《募集内容》

募集人数:25名(最少催行人数15名) 参加資格:15歳以上の健康な男女

参加費:249,000円 添乗員:1名が同行します。

申込締切:平成27年4月10日(木)

参加者説明会:平成27年4月19日(日) 14時00分～15時30分

会場:オイスカ高等学校 会議室

浜松市西区和地町5835番地 TEL:053-486-3011

旅行条件:参加費に含まれるもの……航空運賃、現地滞在中の宿泊費、食事代、交通費、入場料

:参加費に含まれないもの……自宅から成田空港までの往復交通費、パスポート取得料、お飲物代、任意の旅行傷害保険、

:個人的費用……一人部屋追加料金(15,000円) 但し、ゲルと車内泊は相部屋になります。

:参加取消料……出発の30日前から7日前まで……………旅行代金の30%

出発の6日前から3日前まで……………旅行代金の40%

出発の2日前から出発当日まで……………旅行代金の50%

無連絡不参加及び旅行開始後……………旅行代金の100%

《現地実施機関》モンゴル国ドルノゴビ県 オイスカ・モンゴル総局 アイリスツアーズ

《 日程表 》

	月日	時間	行動内容	交通	宿泊
第1日目	5月8日 (金)	12:40 14:40 18:50	成田空港第1ターミナル・モンゴル航空カウンター前集合、 <u>搭乗手続き</u> 成田空港出発、ウランバートルへ ウランバートル空港到着	OM502	フラワーホテル泊
第2日目	5月9日 (土)	午前 午後	日本人墓地参拝 ウランバートル市内観光 昼食後専用車にてドルノゴビ県へ出発	専用車 専用車	ゲルキャンプ泊
第3日目	5月10日 (日)	終日	植林活動 学生及び地元住民たちとの交流 夕食後、遊牧民の伝統文化についてレクチャー	専用車	ゲルキャンプ泊
第4日目	5月11日 (月)	終日 夜	県庁にて砂漠化と緑化対策についてレクチャー、Q&A ドルノゴビ県観光 サインシャンド駅を寝台列車にて出発、ウランバートルへ	専用車 夜行寝台列車	車内泊
第5日目	5月12日 (火)	朝 深夜	ウランバートル駅到着、ホテルにて休憩後ホテル出発。 古都カラコルムへ移動(340km) ブルドの草原と砂丘の風紋を見学 満天の星空観賞(天気にもよります)	専用車	ゲルキャンプ泊
第6日目	5月13日 (水)	終日	カラコルム博物館見学 世界遺産オルホン渓谷、及びウギー湖観光 遊牧民ゲル訪問、交流	専用車	ゲルキャンプ泊
第7日目	5月14日 (木)	午前 午後 夕刻	朝食後、ウランバートルへ出発 ショッピング モンゴルコンサート鑑賞	専用車	フラワーホテル泊
第8日目	5月15日 (金)	05:30 08:05 13:40	ホテル出発 ウランバートル空港出発 成田空港着、解散	OM501	

※今回の観光の場所は古都カラコルムです。チンギス・ハーンが兵站基地をこの地に造営し、第2代大ハーンであるオゴデイが1235年に宮殿・城壁を築きモンゴル帝国の首都に決めました。モンゴル帝国と各地の結びつきが確立されましたが16世紀末カラコルムは忽然と歴史上から姿を消し、19世紀末にロシアの研究者が遺跡を発見、調査が今日も進められています。

友好都市トルノゴビ県における植林フォーラム参加申込書

フリガナ			NAME (英語)					
氏名								
生年月日	西暦	年(大正・昭和・平成)	年	月	日(歳)	性別	男・女	
現住所	〒 住所: TEL () - FAX () - 携帯電話番号: Eメール:							
勤務先 学校	名称: 〒 電話() - 住所:							
渡航中の 連絡先	(現住所と同一の場合は同上) 〒 住所: 氏名: 関係: 電話:							
旅券 (パスポート)	ある	旅券番号			発行日	年	月	日
	ない	取得予定日			年	月	日	
同室希望	・ない ・ある(さんと)							
一人部屋希望	・希望する ・希望しない							
タバコ	・禁煙 ・喫煙							

- ※ パスポートをお持ちの方は申込時にパスポートのコピーをお送りください。
- ※ パスポートは帰国日より6ヶ月の有効期限が必要です。必ず確認してください。
- ※ 一人部屋希望の場合は、15,000円追加されます。
- ※ 成田空港第1ターミナルのモンゴル航空カウンター前に集合、帰国時も成田空港で解散です。
- ※ 申し込み先 (この申込書を下記のいずれかへFAX, あるいは郵送してください。)

1. オイスカ静岡県支部 〒435-0036 浜松市南区渡瀬町87
担当: 友田、内山 TEL: 053-464-0339 FAX: 053-463-0316
2. オイスカ「駿河の国」連絡所 〒424-0114 静岡市清水区庵原町134-3
静岡トヨペット(株)清水東名店内
担当: 亀山 TEL: 090-7690-8766 FAX: 054-364-8010
3. (株)遠鉄トラベル本社 〒430-0927 浜松市中区旭町12-1
担当: 森泉 TEL: 053-457-6470 FAX: 053-457-6477